

議会だより

# あしや

No.218

令和5年  
8月25日発行

青屋でチャレンジー!

6月  
定例会

|           |     |
|-----------|-----|
| 新体制スタート   | 2P  |
| 6月定例会     | 4P  |
| 5月臨時会     | 8P  |
| 町政を問う一般質問 | 10P |

表紙の関連記事は 16 ページに掲載しています。

# 新体制スタート!!

## 議長に 内海猛年議員

## 副議長に 中西智昭議員を選出

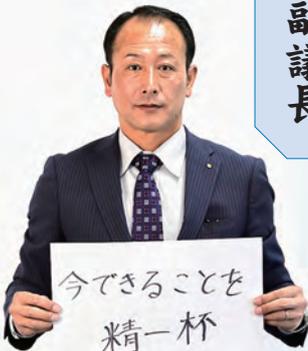
議長



うちうみ たけとし  
内海 猛年  
72歳・4期目

議員各位のご推挙により、議長に就任することとなり、誠に光栄に存じます。私は全身全霊を打ち込んで事にあたり、公正を旨とし、議会の円滑なる運営をはかり、芦屋町の益々の発展と、地方自治の振興のために、全力をつくす所存でございます。しかし浅学非才の身であり、皆様のご協力なしには議長の重責を全うすることは不可能でございます。最後まで誠意を持って取り組む心構えでおりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

副議長



なかにし ともあき  
中西 智昭  
49歳・2期目



いもかわ いくお  
妹川 征男  
78歳・4期目



つじもと かずお  
辻本 一夫  
74歳・5期目



かわかみ せいいち  
川上 誠一  
69歳・7期目

- 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
- 田中 香田 萩原 本田 貝掛 長島
- 太 一之 洋子 浩 俊之 毅

議会広報  
常任委員会

- 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
- 中西 長島 松岡 川上 田中 萩原
- 智昭 毅 泉 誠一 太 洋子

民生文教  
常任委員会

- 委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
- 貝掛 内海 妹川 辻本 香田 本田
- 俊之 猛年 征男 一夫 一之 浩

総務財政  
常任委員会

# 熱いおもいで 12人!

統一地方選挙後の初議会（第2回臨時会）が5月8日に1日限りの日程で開会されました。初議会では、まず議長選挙が行われ、引き続き副議長の選挙、各常任委員会委員や議会運営委員会委員の指名、一部事務組合議員の選挙などが行われました。議長選挙の結果、内海議員が最多得票で議長に当選し、副議長には中西議員が最多得票で当選しました。各委員会などの委員については次のとおり決定し、新しい体制がスタートしました。



ほんだ ひろし  
本田 浩  
62歳・2期目



まつおか いずみ  
松岡 泉  
71歳・3期目



かいかげ としゆき  
貝掛 俊之  
52歳・4期目



たなか ふとし  
田中 太  
48歳・1期目



こうだ かずゆき  
香田 一之  
69歳・1期目



ながしま つよし  
長島 毅  
52歳・2期目



はぎわら ひろこ  
萩原 洋子  
60歳・2期目

福岡県介護保険  
広域連合議会  
萩原 洋子

遠賀・中間地域広域  
行政事務組合議会  
田中 太  
長島 毅  
辻本 一夫

監査委員  
香田 一之

委員 萩原 洋子  
委員 妹川 征男  
委員 辻本 一夫  
委員 川上 誠一  
副委員長 本田 浩  
委員長 松岡 泉

議会運営委員会

新体制  
6月定例会  
5月臨時会  
一般質問  
議会活動報告等

# 6月定例会

## デジタル化の推進へ

### 1億2200万円の増額補正

#### 補正予算

##### ◆電子図書館の導入

12月中旬に遠賀郡4町で広域電子図書館の運営が始まります。

#### 成果

電子図書館の導入については、委員会や令和4年12月定例会で一般質問を行っていました。



**問** 電子図書館導入の見解は。

**答** 導入している岡垣町の状況を踏まえ、慎重に検討したい。

**問** 高齢者や障がい者の皆さんのメリットは。

**答** 拡大機能や音声読み上げ機能もあり、インターネット環境があれば、いつでもどこでも読書を楽しむことができる。サポートについては、今後検討していく。

**問** 利用料はかかるのか。

**答** インターネットの通信料は必要になるが、電子図書館の利用料はかからない。

**問** 事務局や今後の詳細は。

**答** 水巻町図書館が事務局となり、今後は4町で協定を結び、詳細は運営協議会の中で決めていく。

**問** 来年度以降のランニングコストは。

**答** システム使用料と電子書籍の購入で、約73万円程度を見込んでいます。



電子図書館 利用風景

##### ◆コンビニ

#### 自動交付機の設置

**問** なぜ役場に設置するのか。

**答** コンビニに設置されている自動交付機と同じ

ものを庁舎内に設置し、初めての人や不慣れた高齢者の操作を職員がサポートすることで操作に慣れていただき、将来的に町民の皆さんが近くのコンビニで、住民票などを交付取得できることを目指す。

**問** 交付の問題は大丈夫なのか。

**答** 芦屋町では誤交付などの問題が起きていないシステムを使用しておらず、今までどおり、セキュリティ面は確保されている。



自動交付機



O.Rさん(23歳)

安心して働け、家庭が持てる町にしてほしい

一言インタビュー  
芦屋町議会に期待することは？

| 補正のあった主な内容                         | 補正額     |
|------------------------------------|---------|
| 新型コロナウイルスワクチン接種事業（秋）               | 4,813万円 |
| 地域脱炭素移行・再エネ推進補助金（浄化センターに太陽光パネルを設置） | 1,140万円 |
| 遠賀郡広域電子図書館運営負担金                    | 392万円   |
| 中間市・遠賀四町再エネ導入計画策定支援業務負担金           | 280万円   |
| コンビニサービスを利用した自動交付機導入業務委託           | —       |

※1万円未満切り捨て

## 反対

【庁舎内に  
自動交付機は必要ない】

妹川 征男 議員



①マイナンバーカードを使って証明書等自動交付機を900万円も費やして役場内に設置することは、税金の無駄使いであり、放漫経営と言わざるを得ない。②すでに町内の5カ所のコンビニで証明書等自動交付機が設置されており、いつでも毎日、朝6時半から夜11時まで利用できる。③マイナンバー制度は、個人のさまざまな情報が頻繁に漏洩している。④町民の利便性といいながら、企業のノルマのようにマイナンバーカードの普及率を高めることが目的化している。

## 賛成

【町民の利便性と  
財政面でも評価】

萩原 洋子 議員



今回の補正予算は、新型コロナウイルスのワクチン接種や脱炭素・再エネ推進の予算、遠賀郡広域電子図書館の運営負担金、庁舎内にコンビニ自動交付機を設置し、コンビニ交付の体験を通じて将来的に町民の皆さんが来庁しなくても近くのコンビニで各種証明書などが取得できるようにするための予算などである。どれも町民の健康、環境、利便性の向上を考えた予算となっている。また、補助金確保の努力も見られ財政面でも評価できる。

芦屋港の観光化を  
早く進めて欲しい



H.Kさん(74歳)

町民に寄り添った  
取り組みに  
期待しています



T.Aさん(36歳)

# 条例

## ◆政治倫理条例の一部改正

### 一部改正

議員のなり手不足問題に伴い、議員などと町の工事などの請負に関する金額が年間300万円以下であれば、条例に抵触しないこととなった。あわせて、資産等報告書の記載事項に後期高齢者医療保険料や、介護保険料の前年度納付状況に「4月30日現在における」が追加された。

**問** 300万円という金額の根拠は。

**答** 国が示した金額が300万円である。

**問** 早急に条例改正を出す必要があるのか。

**答** 自治体においては今後の議員のなり手不足が厳しい状況である。

# 反対



【政治倫理条例が形骸化することが懸念される】

川上 誠一 議員

規制緩和などと称して、これまで禁止してきた議員の請負を事実上、解禁することは許されることではない。

法改正は、議員活動の信頼と行政の執行を担保する規定を空洞化するものである。議員個人の請負が緩和されることにより、議会のチェック機能の後退や政治倫理条例が形骸化していくことが懸念される。

住民に疑惑の念が生じることがないよう、地方自治法以上に厳しくすることが政治倫理条例の役割である。

# 賛成

【議員のなり手不足は深刻】

本田 浩 議員

近年の地方議会のみならず、自治体と取引のある事業者も重要な議員のなり手である。今春41道府県で行われた統一地方選では、トリプル無投票の地域が全国で16町村あった。このトリプル無投票は2019年は6町村だったが、2023年は16町村に増えた。無投票は選挙人の民意が反映されず、選ぶ権利がなくなることである。そこで自治体と事業者の取引額が一定金額以下であれば、請負を認める今回の改正案に賛成する。



## ◆学童クラブ設置 条例の一部改正

山小学童クラブの利用者が増加していることから、隣接する山鹿公民館内に支援ルームを一部屋確保し、現行の2クラスを3クラスに増やす。定員数も90人から100人に増やし、さらなる利用者増などに対応できるようにする。

**問** 山鹿公民館を使うことになったいきさつは。

**答** 費用対効果に加え、利用者数が増える夏休みに間に合わせるができる。



山鹿公民館（手前）と山鹿学童クラブ（奥）



若者に興味・関心を持ってもらえるような開かれた議会づくりを

T.Tさん(15歳)

### 一言インタビュー

芦屋町議会に期待することは？

# 契約

## ◆タウンバス

### 車両購入

■契約業者

いすゞ自動車九州(株)

■契約金額

2376万円

**問**

車いすの人が乗りやすい仕様になっているか。

**答**

乗り口にステップが出るようになっていて、

また、車内ではベルトで車いすが固定できるようになっている。

**問**

今後のバスの保有台数は何台になるのか。

**答**

現在は6台ある。今後、

1台廃車にし、1台購入するので、同じく6台になる。



## ◆芦屋釜の里収蔵

### 展示施設改修工事

■契約業者

(株)大宝産業

■契約金額

5057万7780円

**問**

最近、窃盗団による強盗が頻発しているが、

ガラスの強度は、

**答**

強度は一概に答えられないが、強化ガラスを使用する。

**問**

防犯上、非常ベルなどの設置は行うのか。

**答**

非常ベルなどは設置しないが、夜間は機械警備、日中は防犯カメラで対応する。

**問**

収蔵ケースの大きさは、

**答**

壁に接するものは概ね横5m、縦2m、奥行

1mであり、小型なものとして60cm真四角で、高さ2mのものが4台、90cm真四角で、高さ2mのものが1台ある。

**問**

重要文化財を展示するための特殊な工事となるが、業者の実績や技術面は

どうか。

**答**

実績については条件を付していないが、技術

面に関しては入札の際に仕様書を掲示しているため、問題ないと判断している。



改修工事中の芦屋釜の里

# 人事

■教育委員会委員の任命

現委員の任期満了に伴い、新たに佐伯慎也氏を任命するもの。

■固定資産評価委員会委員の選任同意

現委員の任期満了に伴い、新たに縄田孝志氏を選任するもの。

■人権擁護委員の候補者推薦

現委員の任期満了に伴い、再度、松田義春氏を推薦するもの。

■農業委員会委員の選任同意

現委員の任期満了に伴い、次の8人を選任するもの。

- 安高澄夫氏 安高寿倫氏
- 入江一博氏 木原教茂氏
- 重岡裕馬氏 中野則幸氏
- 本田勝人氏 萩原洋子氏

歩道に草木が被って危険なので、なんとかしてほしい



M.Rさん(72歳)

議員が何をしているのか分からないので分かりません



K.Iさん(45歳)

# 5月臨時会

## 物価高騰対策（町独自支援策第13弾）

### 3億5100万円の増額補正など

### 補正予算

| 補正のあった主な内容       | 補正額       |
|------------------|-----------|
| 電気料金等支援給付金       | 1億2,200万円 |
| 生活応援商品券          | 1億3,600万円 |
| プレミアム付き商品券       | 450万円     |
| 高齢者・障がい者福祉施設等支援金 | 512万円     |

| 専決 補正のあった主な内容        | 補正額     |
|----------------------|---------|
| 新型コロナウイルスワクチン接種事業（春） | 6,283万円 |

※1万円未満切り捨て

#### ◆生活応援商品券

物価高騰により、町内で使用できる商品券を住民一人につき1万円給付する。

#### ◆プレミアム付き商品券

プレミアム率35%を上乗せした商品券を3種類（一般、住宅リフォーム、キャッシュレス）、商工会より発行。詳細は広報7月号のチラシで周知している。

**問** 町内の大型店舗での使用は可能なのか。  
**答** 可能である。

**問** キャッシュレス（あしやんペイ）の購入対象者は、町内外者問わず、購入可能か。  
**答** 町内外者問わず、購入可能。

#### ◆電気料金等支援給付金

物価高騰により、電気やガスなどの利用控えによる体調不良の可能性があるため、1世帯につき2万円を給付する。

#### ◆高齢者・障がい者福祉施設等支援金

物価高騰の影響を受け、価格転嫁が難しい高齢者・障がい者福祉施設などの法人に対し、安定した福祉サービスの提供を行うため、入所・通所などの種類や規模に応じた支援金を給付する。

**問** 独自支援の算出根拠は。  
**答** 県の支給金額を参考にした。

### 承認

#### ◆国民健康保険条例の一部改正

芦屋町国民健康保険税を減免する専決処分を行ったため、議会の承認を求めるもの。

### 反対

【実質、国民健康保険税を

引き上げるものである】

川上 誠一議員

厚生労働省は保険税の課税限度額の改定で「中間所得層に配慮した」と言っているが、中間層も含め、ほぼ全ての階層で保険料は上がっている。軽減判定所得の見直しなど改善点はあるが、保険料の大幅値上げは認められない。

## 意見がわかれた議案の賛否一覧

議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。

○：賛成、×：反対を表しています。

### 5月臨時会

| 議席番号                    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 賛成 | 反対 | 審議結果 |
|-------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 議案名 / 議員名               | 中西 | 田中 | 香田 | 長島 | 萩原 | 本田 | 松岡 | 貝掛 | 妹川 | 辻本 | 川上 | 内海 |    |    |      |
| 専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正） | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | －  | 10 | 1  | 可決   |

### 6月定例会

| 議席番号                    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 賛成 | 反対 | 審議結果 |
|-------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 議案名 / 議員名               | 中西 | 田中 | 香田 | 長島 | 萩原 | 本田 | 松岡 | 貝掛 | 妹川 | 辻本 | 川上 | 内海 |    |    |      |
| 芦屋町農業委員会委員の選任同意（第13号のみ） | ○  | ○  | ○  | ○  | 除  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | －  | 9  | 1  | 可決   |
| 芦屋町政治倫理条例の一部を改正する条例の制定  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ×  | －  | 9  | 2  | 可決   |
| 令和5年度芦屋町一般会計補正予算（第2号）   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ×  | －  | 9  | 2  | 可決   |

議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

## 議会の活動を報告します

### おんがレガッタ大会

5月27日(土)

おんがレガッタ大会に、芦屋町議会チームで参加しました。予選を無事に通過し、準優勝戦に臨みました。手にマメをつくりながらも他町に負けてたまるものかを内に秘め、さあスタート！ゴール！気づけば最下位でした。

チーム全員、来年へのリベンジを誓い、遠賀川をあとにしました。



### 大雨洪水避難訓練

6月24日(土)

芦屋町内を流れる川が大雨により氾濫したとの想定で行われた避難訓練に参加しました。

最初に、情報収集から避難指示に至る災害対策本部立ち上げの様子を見学した後、避難所の総合体育館へ行き、避難してきた町民の皆さんの話を聞いたり避難用テントを確認し、町の防災のあり方を検討する機会を得ました。





# 町政を問う 一般質問



一般質問会議録

6月9日に5人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などの所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねることです。

| ページ | 質問議員  | 質問事項   |
|-----|-------|--|
| 11  | 松岡 泉  | ◎ 災害対策<br>○ 障がい者支援<br>◎ 子ども・子育て応援プラン                                 |
| 12  | 萩原 洋子 | ○ 中央グラウンドの整備<br>◎ ごみステーションのガラス対策<br>◎ 野良猫対策<br>○ 通学に関するアンケート結果と今後の対策 |
| 13  | 本田 浩  | ◎ 芦屋町におけるチャットGPT<br>◎ 防災士活動の今後と郵便局の活用<br>○ 令和5年度施政方針                 |
| 14  | 川上 誠一 | ◎ 安保3文書による芦屋基地強靱化<br>○ 学校給食費の無償化                                     |
| 15  | 長島 毅  | ◎ 芦屋港レジャー港化の現状と今後の展望   |

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

議会だよりは要約しています。詳しくはホームページの会議録や録画中継でご確認ください。





まつおか いずみ  
松岡 泉

子ども・子育て支援

条例制定を含め所信は

町長

条例を含め調査研究する

**問** こども基本法が制定され、「社会のど真ん中に子ども」を据えた施策が開始される。本法の意義は何か。

**答** こどもの権利を包括的に明記したことである。子ども施策の共通基盤となる基本理念などのもと、その施策を社会全体で総合的かつ強力に実施していくことになる。

**問** 子どもを取り巻く環境は、全国的に深刻的な状況が続いている。町の子どもの施策の成果と支援事業計画推進の効果は。

**答** 支援事業計画に基づき、施策を総合的・一体的に推進している。令和5年3月の状況調査報告書の結果から一応の効果があったと考えている。

**問** 施策の検討を行う際、子どもの意見を聴取することが重要だが、この点の対応は。

**答** こどもの意見の反映が十分とは言えないため、NSの活用などの手法を検討し、支援事業計画の見直しにあたって、子どもの意見を反映させることも必要と考える。

**問** 町長は、子ども・子育て支援を施政方針に掲げているが、その所信は。

**答** 今後、大きく動きだすと考えており、支援の方向性などをしっかりと見定め、子どもの権利条例を含め、調査研究を行っていきたい。



芦屋町の子ども・子育て支援事業計画

**問** 防災訓練実施内容は、災害対策本部演習や職員対応訓練についても取り組みが必要と考えるがどうか。

**答** 重要な訓練と認識し、今年度は職員研修を計画し、次年度は訓練の実施を検討する。

**問** 今年も大雨の可能性があるが、事前の水害対策は。

**答** 汐入川の堤体老朽化に伴う全面改修、土砂の浚渫（しんせつ）を行った。大君の雨水幹線改修工事を行い、排水機能の改善などの対策を講じている。

**問** 被災者台帳は、市町村が作成するようになっていく。町はシステム構築しているが、その理由と導入の考えは。

**答** 国のシステムの優位性を確認しながら、費用対効果を検討し、調査研究していく。

災害対策

萩原洋子



録画中継

## ごみステーションのカラス対策

# 今後のカラス対策は

環境住宅課長

## 調査研究し情報共有を図る

**問** ごみ出しの日になると、ごみステーションがカラスに荒らされていることがあ

る。ごみステーションのカラス対策は。

**答** 町は、ごみ出しマナーの啓発や区長会を通じて芦屋町自治区活性化事業交付金を

活用し、ごみネットやごみボックスの購入、啓発看板の作成などの支援を行っている。

**問** それでも被害の訴えがある。町もカラス対策の調査研究を行い、有効な対策の

情報共有など自治区と協力しながら町の環境美化を進める考えは。

**答** ごみ減量化やゴミ出しマナーの啓発、その他の対策の情報提供や効果的な管理方法の調査研究を行い、アドバイスができればと考えている。特に被害が出ている自治区の区長

と情報共有を行い、問題解決に取り組む。

**問** ごみボックスの購入は自治区の負担が大きい。カラス対策として、町が購入費用の一部を負担する考えは。

**答** 芦屋町自治区活性化事業交付金を活用してほしい。

個別の要望があった場合は、公正公平の観点から区長会や芦屋町環境美化推進委員会の中で議論できればと考えている。

**問** 町環境美化推進委員会の中で議論できればと考えている。



ごみステーションを荒らすカラス

### 野良猫対策

**問** 町のTNR活動などの取り組み状況は。

**答** 令和4年2月から、どうぶつ基金のさくらねこ事業の行政枠で不妊手術を進め、令和4年第3回定例会で、芦屋町環境美化推進委員会設置条例に飼い主のいない猫に関する

ことが追加された。その他にも、町と保護猫活動のボランティアや地域の皆さんとの情報共有、猫よけ器の貸出し、忌避剤の参考例を記載した資料の配布も行っている。

**問** 行政枠の手術は月に5頭程度となっている。もっと集中的に飼い主のいない猫を減らすために、期間を定めてでも町が不妊手術の費用や保護猫のボランティア活動の費用を一部負担する考えはないのか。

**答** 当面はボランティアの人数を増やしていきたい。

ボランティアの皆さんの意向や不妊手術の補助金交付の調査研究を行い、推進委員会の中で協議していく。

本田 浩



録画中継



## 防災士活動と郵便局の利活用

# 災害時郵便局の利活用は

総務課長

## 業務提携は良い提案

**問** 総務課で把握している防災士の男性と女性の比率は。

**答** 男性17人、女性2人で女性の比率は10・5%。

**問** 避難訓練での防災士の活動の役割は。

**答** 防災士は自身の所属する自治区の訓練に参加し、安否確認手段の問題点などの改善を図ってもらいたいと思っている。防災士は住民の中で、避難訓練に積極的に参加することが大切だと思っている。

**問** 今後、資格取得者の防災士会の設立や定期的な研修・会合などが必要となるか。

**答** いましばらくは、研修や会議などを行い、組織形成の機運を高めていきたいと考えている。防災士の組織形成は必要であると考えているので、努力を続けて組織形成に繋がっていきたいと考える。

**問** 自治体と郵便局が包括的に協定を結ぶこと、特に災害発生時の業務提携はメリットが大きく、地域社会の不安を少しでも緩和する大きな要因になるかと思われるが、どのように考えているのか。

**答** 自治体とさまざまな企業が防災協定を結ぶことは、災害発生後の対策として体制強化を図ることができる。本庁舎に郵便局本体が併設されていることを鑑みると、災害時の業務提携は大変良い提案だと考える。

### チャットGPT

**問** 自治体がチャットGPTに関わる目的とは。

**答** 文章や画像を作り出す生成AIは、住民サービスの向上や職員の業務改善への可能性があるとされている。

**問** チャットGPTと自治体職員との関わりは、どのようなことが考えられるか。

**答** 自治体職員とチャットGPTの連携により、より効率的で質の高いサービスを町民に提供できる。両者が役割分担し、相互補完的に活動することで、行政の品質と町民満足度を向上させることが期待される。

**問** チャットGPTの課題は。

**答** 正確な情報提供、個別ニーズへの対応、プライバシーやセキュリティの保護、技術の継続的な改善、町民との信頼関係の構築がある。



郵便局が併設されている芦屋町役場

## 安保3文書による芦屋基地強靱化

## ミサイル配備の可能性は

総務課長

## 答えることはできない



川上誠一

録画中継

**問** 敵基地攻撃能力の保有により、自衛隊基地を核兵器などの攻撃にも耐えられるように強靱化する計画を共産党の書記局長が明らかにした。計画の中にシーバーンやHEMP攻撃対策を推進するところがあるが、これらはどういうものか。

**答** シーバーンとは、化学、生物の頭文字を総称して、特殊災害とも呼ばれている。HEMPは高高度核爆発電磁パルスとい、核爆発に伴って発生する非常に強力な電磁波で、電気・電子機器を破壊する。これにより、システムが広範囲に故障・停止する可能性が指摘されている。

**問** 防衛省は23年から5年間で4兆円を投じ、主要施設の地下化などの強靱化を行う。芦屋基地も対象だが、基地からの連絡はあったのか。

**答** 基地に確認したところ「防衛整備に関することは、

基地が答える立場にない」との回答であった。

**問** 全国に大量のスタンダード・オフ・ミサイルが配備されるが、芦屋基地に配備される計画はないのか。

**答** 基地に確認したが、「防衛力整備に関することは答えることができない」との回答であった。

**問** 築城基地も滑走路が延長され、米軍の戦闘機12機、輸送機1機や兵員約200人を受け入れる整備が進められ、弾薬庫や庁舎、宿舎が建設され、基地の強靱化が進められている。芦屋基地は朝鮮戦争時には最先端の基地として役割を果たし、現在、PAC3を導入している。町民の命と暮らしを守る最大の使命を果たすため、町長は基地強靱化に反対を表明すべきではないか。

**答** 国民はたったひとつ、その生命と財産を守るとい、その使命感で誰も戦争はしたくない。しかし、相手は挑発してくることも万が一あるので、国民の生命を守るために、しっかりと自民党は防衛力の強化を行うことが必要であると考えている。



航空自衛隊芦屋基地 (グーグル・アースより作成)

注1 スタンダード・オフ・ミサイル：長射程ミサイル。敵の対空ミサイルの射程外から発射が可能。通常、攻撃作戦において陸上や海上の目標に対して使用される。



ながしま  
**長島**  
つよし  
**毅**



録画中継

## レジャー港化の現状と展望

# アロハビズで機運醸成を

町長

## 十分検討する

**問** 芦屋港活性化の機運醸成事業の基本方針のもと、

令和3年度以降の取り組み方針が示されているが進捗状況は。

**答** 今年度、レジャー港化に合わせたキャンペーン事業実現に向けたものと、飲食・物販に関するテストマーケティングなどを中心を実施していく予定。なお事業目的は、機運醸成、人材発掘・育成、町内のネットワーク化、回遊性の創出、消費拡大となっている。

**問** 将来的な取り組みで新規に決定していることはあるか。

**答** 今年度実施予定のテストマーケティングの検証により決定していく。

**問** 令和8年度の開業に合わせた機運醸成キャンペーンとして、令和7年度から3年間のアロハビズ導入を検討するのはどうか。

**答** 十分協議し、町として導入の有無を決定していきたい。

**問** 町とレジャー港のPRのため、県内市町村に先駆けてアロハ先進地を目指してもいいのではないか。

**答** アロハシャツのようなイメージで、話題性をもって芦屋町を売り込むことが大事であり、十分検討する。

**問** レジャー港施設の経費確保の手段として、公共施設やスポーツ施設に名前を付ける権利を契約するネーミングライツ制度の導入を検討してはどうか。

**答** 砂浜、港湾、洞山、はまゆう公園など、海岸線一帯を命名してもらい契約が取ればと思うので、多方面から検証していく。

*ashiya aloha*



ハマユウをあしらったアロハシャツのイメージ

うか。

**答** 他自治体の事例などを十分検証の上、決定すべきであると考えている。

**問** 「みなと準備室」の人材を活かすことが必要ではないか。

**答** 2人とも官民連携事業の経験も豊富で、本件の検討を中心的に担っていただく。

**問** レジャー港は開業後も管理運営に多くの財源が必要になってくると思われ、ネーミングライツのような新たな収入源確保の考え方も町で検討しては。

**答** 砂浜、港湾、洞山、はまゆう公園など、海岸線一帯を命名してもらい契約が取ればと思うので、多方面から検証していく。

**注2** ネーミングライツ制度は公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のこと。

**注2** ネーミングライツ制度は公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のこと。

**注2** ネーミングライツ制度は公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のこと。

**注2** ネーミングライツ制度は公共施設の名前を付与する命名権と付帯する諸権利のこと。

# 町かど インタビュー



チャレンジショップって知ってる？町が創業希望者に店舗を安価で貸し出して、創業のチャレンジの機会を持ってもらうものっちゃ。今年からチャレンジしている PENELOPE の今田美穂さんにインタビューしたっちゃ。

## 将来はライダーハウス経営にもチャレンジしたい！！

**A** 近くに芝生や広い駐車場もあるのですが、たくさんの方が集まれるようなお店にしたいです。お店の売りは自慢の焼き立てベーグルです。

**Q** 始まったばかりですが、これからどんなお店にしていきたいですか？

**A** バイク乗りのみんなと交流し始めて、そんな友人が集まれるようなカフェをやりたいと思うていたところ、チャレンジショップの募集があったので応募しました。

**Q** チャレンジショップに応募したきっかけは？

**A** 4台所有のバイクの中からお気に入りの1台



4台所有のバイクの中からお気に入りの1台



自慢の焼き立てベーグル

**A** 町内でカフェ併設のライダーハウスを経営したいです。

**Q** 将来の夢はありますか？

**A** 若い人たちが活発に活動できる場所をもっと作って欲しいと思います。私もそういう人たちをフォローしていきたいです。

**Q** 若い人たちが活発に活動できる場所をもっと作って欲しいと思います。私もそういう人たちをフォローしていきたいです。

**Q** 芦屋町にひとこと

**A** なるべく早くその完成を見たいです。海に関わるアクティビティなどがあれば、うれしいですね。

**Q** 芦屋町の港が今後開発されますが、何か思うことはありますか？

### 議会を傍聴しませんか！

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会のひとつです。ぜひお越しください。

**次回の定例会は9月7日開会予定**

詳細は議会事務局にお問い合わせください。  
TEL 093-223-3927

### 議会録画中継配信中

詳しくは、芦屋町ホームページをご覧ください。なお、配信は本会議終了から7日後（土日祝日のぞく）になります。



録画中継で見た表決の様子



録画中継ページ

|    |    |    |    |      |     |    |
|----|----|----|----|------|-----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 田中 | 香田 | 萩原 | 本田 | 貝掛   | 長島  | 内海 |
| 太  | 一之 | 洋子 | 浩  | 俊之   | 毅   | 猛年 |

【議会広報常任委員会】

【発行責任者】

長島 毅

4月の統一地方選挙も終わり、芦屋町議会も新たな一步を踏み出しました。広報常任委員会も新体制になり、僭越ながら委員長を拝命し、身の引き締まる思いで一杯です。

新しいメンバーとともに、「変化」と「進化」をモットーに、より一層見やすく伝わりやすい誌面づくりに邁進していきたいと思えます。今後も撮影・取材の際にはご協力よろしくお願ひします。新時代だ！

編集後記